

2014年度 日本文化人類学会

第2回理事会 議事録 (案)

日時：5月17日(土) 10:30～11:30

会場：幕張メッセ 国際会議場 301 B

<出席者> 関根、赤堀、池田、石田、太田、岡田、春日、亀井、岸上、窪田、栗田、桑山、慶田、湖中、田中、名和、真島、松田、松村、山本

<委任状提出> 上杉、瀬川、和崎

議題

〔承認事項〕

1. 2014年度第1回理事会議事録
2. 新入会員(1名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

〔報告事項〕

1. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき4件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
2. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：79巻1号の進捗状況について報告。
 - ・JRCA編集委員会：IUAES2014の分科会発表で論文としてJRCAに投稿可能なものについては論文の投稿を呼びかける予定であることを報告。
 - ・法人化検討委員会：2015年度総会において本学会の法人化について素案の提示及び意見聴取を行った上で、2016年総会において最終案の提出を予定していることを報告。
 - ・「国際情報発信強化」特別委員会：IUAES2014において今後のJRCAの国際化に関するパネルが生まれ、有意義な発表と活発な議論が行われたこと、このパネルの内容については桑山理事が集約した上で委員会及び必要に応じて理事会に報告する予定であることを、平成26年度科研費補助金国際情報発信強化(B)の交付申請書を日本学術振興会に提出したことを報告。
 - ・国際連携委員会：窪田理事が5月16日に開催されたWCAAの会議へ出席したこと、会議においてWCAAとIUAESの今後の関係について検討が行われ、本年10月に台湾で開催されるWCAAの会議でも引き続き検討予定であることを報告。10月の会議には学会代表として窪田理事が出席することを確認。
 - ・学会50周年記念事業準備委員会：学会50周年記念国際研究大会への参加者数等について報告。前回理事会で承認された第48回研究大会準備委員会から学会50周年記念国際大会準備委員会への応分額支払にあたっては直接支払を行うこと、金額については学会会計担当理事が確認を行うことを確認。
 - ・研究大会運営検討委員会・研究発表査読委員会：国立民族学博物館が担当する第49回研究大会の準備状況について報告。
 - ・文化人類学教育委員会：若手支援検討ワーキンググループの会合を次回理事会時に開催予定であることを報告。
3. その他
 - ・亀井理事より、前年度に新規採択された課題研究懇談会の活動開始時期について明確な定めがないとの指摘があり、活動開始時期を新年度の4月とすることが承認された。また、新規採択された課題研究懇談会代表者に学会ホームページへ掲載する情報の提出依頼を事務局より行うことを確認した。

〔審議事項〕

1. 各種委員会の構成について
 - ・松村理事より、前回理事会以降の追加部分及び新設委員会の名称について説明があり、承認された。

2. 2013年度事業報告(案)・2014年度事業計画(案)について
 - ・松村理事より、2013年度事業報告(案)・2014年度事業計画(案)について前回理事会以降の追加部分を中心に説明があり、承認された。
3. 2013年度決算(案)・2014年度予算(案)について
 - ・赤堀理事より、2013年度決算(案)・2014年度予算(案)について前回理事会以降の修正点を中心に説明があり、承認された。
 - ・学会50周年記念事業準備委員会から提出された2014年4月末までの収支報告書と5月以降の収支予測について報告があり、2014年度予算(案)に学会50周年記念事業準備金として将来計画基金より500万円を計上することを確認した。
4. 2014年度「次世代育成セミナー」について
 - ・春日理事より、2014年度の次世代育成セミナーについて、例年通り東日本会場と西日本会場で開催予定であること、募集スケジュールについても例年通りの日程を予定していることが報告された。また、次年度以降、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の文化/社会人類学研究セミナーとの共同開催について検討を進めていることが報告された。
 - ・春日理事より、2014年度次世代育成セミナー実施運営委員会の構成について説明があり、承認された。理事外委員については任期終了まで非公開であることが確認された。また、任期に関しては、委員長が次世代育成セミナー内規の原案を作成することとした。
 - ・応募者を増やすためには応募条件について検討することが必要であるとの意見が出され、学会誌への投稿へつながりにくい現状も含め、関係する委員会と連携しながら検討を行うこととした。
5. その他
 - ・赤堀理事より、本学会における物品の調達ルールを定めた「日本文化人類学会物品調達方針」について説明があり、審議の結果、承認された。
 - ・2014年度総会で黙祷を捧げる物故会員について、最終的に7名に黙祷を捧げることが確認された。
 - ・次回理事会は7月6日(日)。

以上